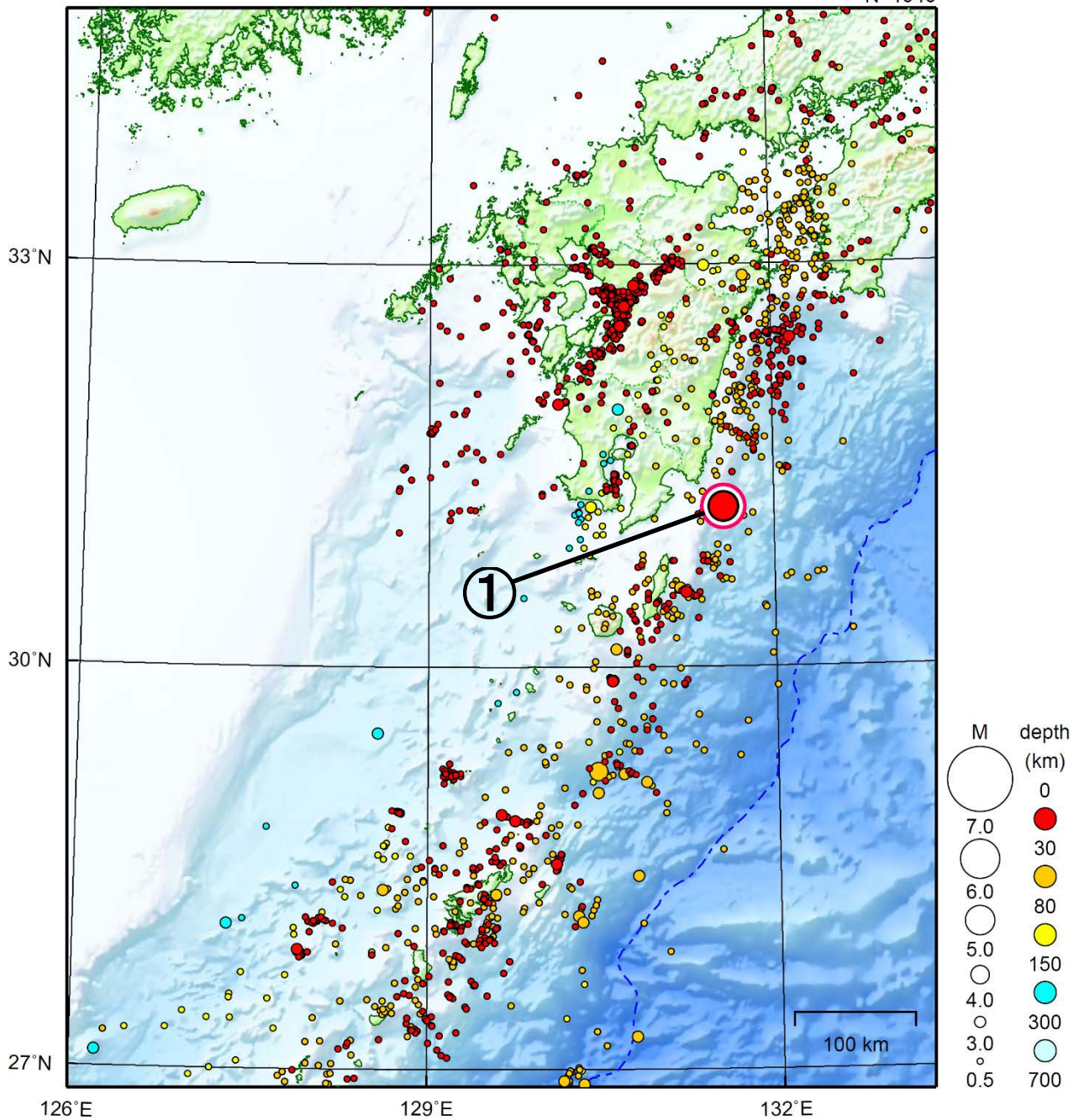


九州地方

2018/06/01 00:00 ~ 2018/06/30 24:00

N=1940



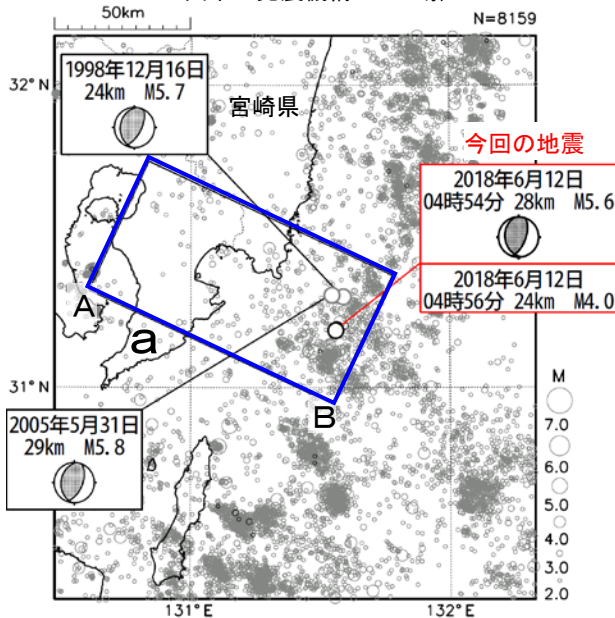
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6月12日に大隅半島東方沖で M5.6 の地震（最大震度4）が発生した。

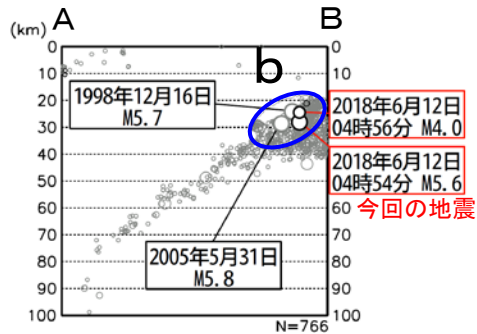
〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

6月12日 大隅半島東方沖の地震

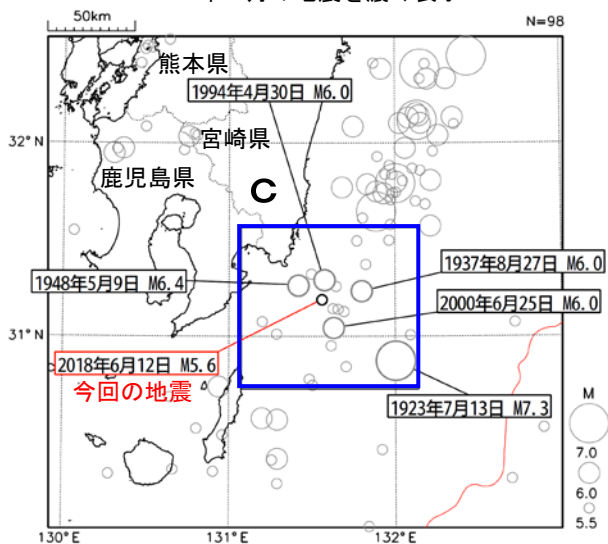
震央分布図
(1997年10月1日～2018年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2018年6月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2018年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)
2018年6月の地震を濃く表示

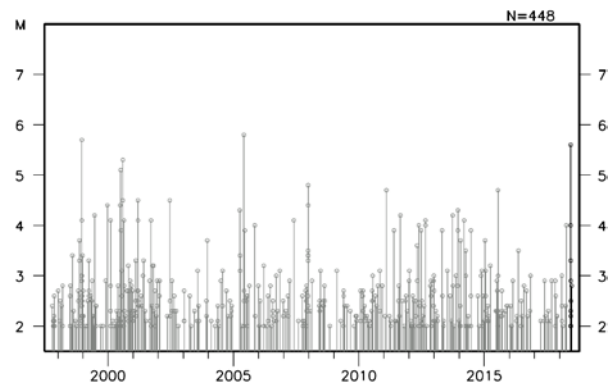


6月12日04時54分に大隅半島東方沖の深さ28kmでM5.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同日04時56分にほぼ同じ場所でM4.0の地震(最大震度2)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM6.0以上の地震が5回発生している。1923年7月13日には、M7.3の地震により鹿児島県の中種子村(当時)で住家小破27棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

